



中央小ものがたり

やさしく かしく たくましく

令和3年10月13日
大村市立中央小学校
発行 石司 貴弘

背中を手本を示す 6年生

中央小学校の朝の風景…。

☆「おはようございます」さわやかなあいさつ
☆落ち葉を掃き清める竹ぼうきの音が、心地よく響きます。登校してくる中学生のみなさんや、地域の方々もあいさつを返していただきます。気持ちのよい学校・地域をみんなでつくっています。

その中心になっているのは、中央小学校のリーダー、6年生のみなさんです。登校してから、本来は自分の自由な時間です。下級生は、教室で好きなことをしたり、運動場で遊んだりしています。しかし、6年生のみなさんは、あいさつ、落ち葉掃き、雑草取り、それぞれの委員会の仕事などに熱心に取り組んでいます。写真での紹介は一部であり、他にも中庭や正面玄関、体育館周辺などに散らばって仕事をしています。

ところで、6年生がやっているあいさつや掃除は、教師が子どもに無理矢理に押しつけているものではありません。生活をよりよくするために何をすればよいか、自分たちで考え、発想し、実行しています。なんと素晴らしいことでしょう。ほうきを持つ子、あいさつを交わす子の表情は実に美しいのです。「やらされ感」や「イヤイヤ感」は感じられません。地域の皆様からもたくさんのお褒めの言葉をいただき、ますます張り切っています。

このような中央小学校の6年生の活動が認められ、長崎県教育会から“善行児童表彰”をいただくことになりました。子どもたちの行いから大人が励まされ、元気をもらうような気がしています。

こんな6年生の背中に、下級生が憧れを抱き、中央小学校のよき伝統がつくられていくのでしょうか。あいさつや掃除に加わる5年生が出てきていることも付け加えておきます。

すばらしい 頼もしい 6年生のみなさんです。



子どものための文化芸術鑑賞・体験支援事業

国(文化庁)の支援を受け、子どもたちが本物の芸術(演劇)にふれる機会をつくることができました。

「東京演劇集団 風」のみなさんをお招きし、『ヘレンケラー』の演目を午前・午後の2公演で開催していただきました。換気・消毒やフェイスシールドなどの感染対策を施していただき、ゆったりと鑑賞することができました。

『ヘレンケラー』という演目の内容の素晴らしさもさることながら、演者の皆様の豊かな表現、舞台装置や音楽、照明などの工夫など、本物から多くのことを感じ取ることができたと思っています。

演目の内容や子どもの感想など、後日 PTA 広報部様の御協力により、お知らせをいただく予定です。



スクールカウンセラー ^{はせがわゆうみ}長谷川優美先生から
子どもたちへのメッセージ



^{しんりがく}ストレス心理学についてのお話です。

- ① ストレッサー：ふりかかってくるもの
(急に雨がふってきた)
- ② ストレス反応：みなさんの反応
(雨か、いやだな。冷たいな。 など)
- ③ マインドフルネス：ストレッサーや反応に気づくこと
(いやだと思ったなあ。冷たいとおもったなあ。 など)
- ④ コーピング：自分を助けるための方法・工夫
(かさを買う、雨がふってよかったところをさがす。 など)

次回から、①についてかんたんにお知らせします